



竹田 英司

先週に続き、私の印象に残った選手の言葉を紹介したい。

「かわいいです。最高です」とは武智洸史選手。Vリーグ試合直前に第1子が誕生し、試合終了後、新幹線に飛



中止になった全日本男女選抜大会用に撮影された選手の集合写真

「待つ男」の言葉に納得

び乗り、お子さんと対面した。今もよきパパぶりを発揮している。

「大丈夫。こんなの揺りかごですよ」。地震におびえる私を励ましてくれたのは熊倉允選手。東日本大震災の経験者に優しく言われ、私は落ち着きを取り戻した。

「いいかい、何事にもタイミグつてもものがあるんだ。信じて待つ。それさえできれば、幸せが舞い降りてくるよ」とはエドガー選手の言葉。不惑を越えて人生の迷子である私が、個人的な悩みを打ち明けた時の返答だ。攻撃専門のポジションであるエドガー選手からは勇敢な助言がもらえると想像していたので意外だった。

考えてみれば、エドガー選手は味方がサーブをレシーブし、トスが上がるのをひたすら待ち続けている。練習も含めれば、今までのバレー人生で何万回も待つてきたことだろう。味方がミスをすることもあれば、セッターの判断でトスを上げてもらえないこともある。それでも仲間を信じ、跳び、攻撃し続けてきた男の言葉だけに私は納得できた。

苦しい時はエドガー選手がコートで待ち続ける姿を思い起こし、信じて待つてみようと思う。

(JT広島マネジャー)